

福井県長期ビジョン

～いっしょに創ろう ふくいの未来2040～

(案)

概要版



令和2年 月
福井県

〔策定の趣旨〕

わが国は本格的な人口減少・超高齢化社会に突入し、世界的には経済社会のさらなるグローバル化や地球温暖化が進行するなど、時代の大きな転換期を迎えています。

その中で福井県は、2040年に人口が64.7万人に減少すると推計（国立社会保障・人口問題研究所推計）される一方、同時期までには北陸新幹線やリニア中央新幹線の全線開業など、立地条件が飛躍的に向上していると考えられます。

高速交通体系の完成を最大限に活かしながら、人口減少はもとより、長寿命化、技術革新など今後想定される社会環境の変化に対応し、県民の皆さんと将来像を共有して福井県のさらなる発展に向けて行動していくため、「福井県長期ビジョン」を策定します。

〔構成と期間〕

第1部 将来構想	福井県の目指すべき将来像を展望 (目標年次 2040年)
第2部 実行プラン	今後5年間に実行する政策を分野別に具体化 (計画期間 2020年度～2024年度)
第3部 地域プラン	県内4地域における政策の方向性等を整理 (計画期間 2020年度～2024年度)

第1部 将来構想

わが国は、地球規模の環境変化に加え、アジア・アフリカ各国と対照的な人口急減社会という困難な時代を迎えています。戦後、「東洋の奇跡」と謳われた急速な経済発展を実現したわが国が、今一度、国民の英知を結集し、この困難をも克服し、持続可能な未来を描くことができるのか、世界各国が注目しています。

その中で福井県は、豊かな自然に恵まれ、悠久の歴史・文化が積み重なり、家族や地域社会のつながりが残され、子育て・教育や産業・雇用の充実した基盤、そして勤勉な人材力が受け継がれる、“日本のふるさと”とも言える地域です。こうした福井の良さを最大限に発揮して、喫緊の、そして将来に向けた大きな課題である人口減少をはじめとした地域の課題を乗り越え、次の時代に新しい価値を創造していくことは、他県の、ひいては世界のモデルとなります。

2040年という未来を見据えたとき、**世界が目指す「福井モデル」の確立**こそが、高いポテンシャル（潜在力）を有する福井県が果たすべき役割だと考えます。

福井県は、日本海側の中央に位置し、成長するアジアに面しています。福井の可能性を最大限に高める大きな基盤が、北陸新幹線や道路、港湾などの**高速交通・物流ネットワーク**です。わが国全体の持続的な成長のためにも、巨大地震等の災害リスクの高い太平洋側中心の国土構造を速やかに転換し、「日本海国土軸」の形成による「新次元の分散型国土」の創出が不可欠です。こうした交通・物流網の整備は本県における最重要プロジェクトであり、一日も早い完成を目指します。さらに、このインフラを基軸に、**まちづくりや観光地の磨き上げ等に重点投資**するとともに、**新たな産業を創造**し、国内外から多くの人を呼び込む力を一段と引き上げていくことが必要です。

今回のCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大は、過度のグローバル化や都市への人口集中がもたらすリスクを顕在化させました。一方、テレワークやオンラインビジネスなど、「働く場所を選ばない」生活スタイルの可能性が大きく拡がり、微住やワーケーションなどの新たな滞在・交流の形を含め、自然に恵まれた地方の暮らしへの関心が高まっています。中でも、三大都市圏からほど良い距離に位置し、独自性を保ちながらも利便性が高く、「幸福度日本一」の良質な社会環境を誇る本県の良さを改めて認識する機会にもなりました。

福井の良さに磨きをかけて次世代に継承し、それらを土台にしながら、立地条件の飛躍的な向上を活かし、人々を強く惹きつける価値を創造する。誰もが安心して、豊かな暮らしを楽しみ、そのイキイキとした県民の姿やまちの魅力が、たくさんの人を呼び込み、地域が賑わい、それがまた県民の誇りにつながる。そうした好循環が生まれる**「福井モデル」を県民の皆さんの力を結集して確立**していきたいと考えます。

こうした考えのもと、2040年に向けた県民の行動指針となる「基本理念」と福井県が「目指す姿」、「基本目標」および「将来イメージ」を描きます。

〔基本理念〕

**「安心のふくい」を未来につなぎ、
もっと挑戦！ もっとおもしろく！**

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」の福井を、
みんなで守り、次世代に引き継ぎます。

さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって
自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・
ドキドキする「おもしろい！」福井を目指します。

〔2040年に福井県が目指す姿〕



SDGs（誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会）
の理念に沿いながら、3つの姿を目指す。

**自信と誇りの
ふくい**

「ふくいらしさ」を大切に。
県民が誇りをもって暮らす
ことにより、さらに多くの
人を呼び込む“ふくい”

「ふくいらしさ」を伸ばし、
外に開いて人を呼び込む。

**誰もが主役の
ふくい**

すべての人が輝き、
互いに支え合い、幸せを実感
しながら、将来にわたり
安心して暮らせる“ふくい”

多様な個性を大事にし、
みんなが自分らしく輝く。

**飛躍する
ふくい**

交通体系の進展や
技術革新を活かして、
産業の新たな可能性を拓く。
創造的で活力ある“ふくい”

変化をチャンスに、
しごととくらしを創造。

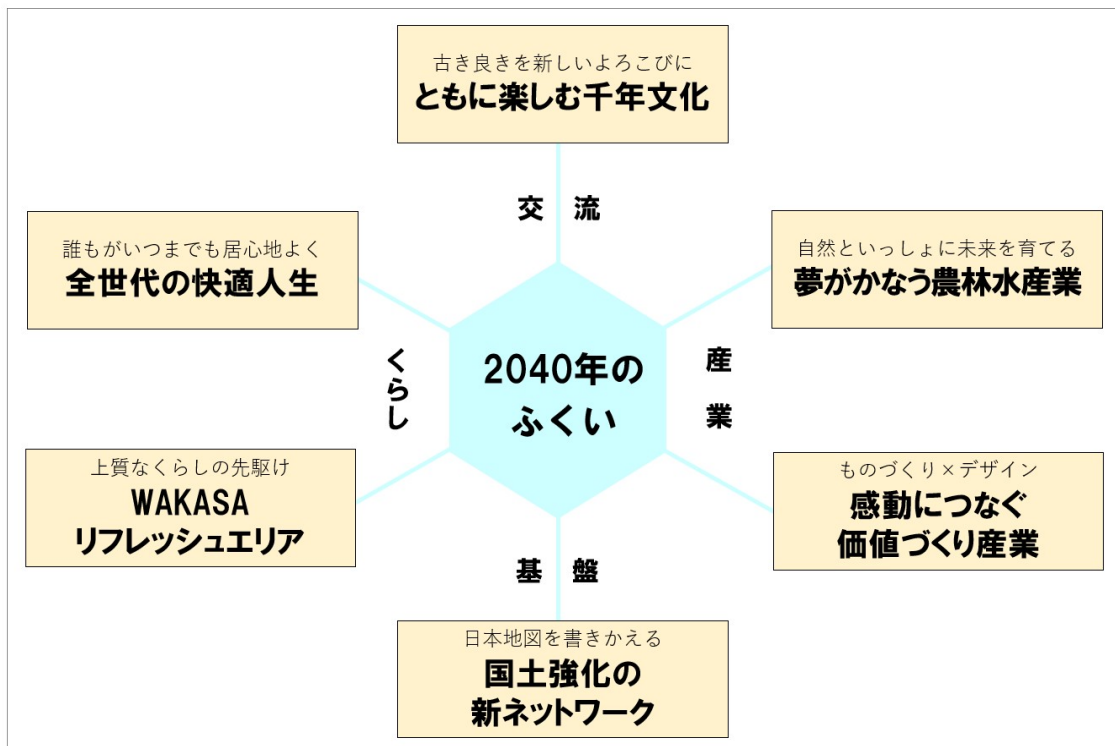
〔基本目標〕

しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

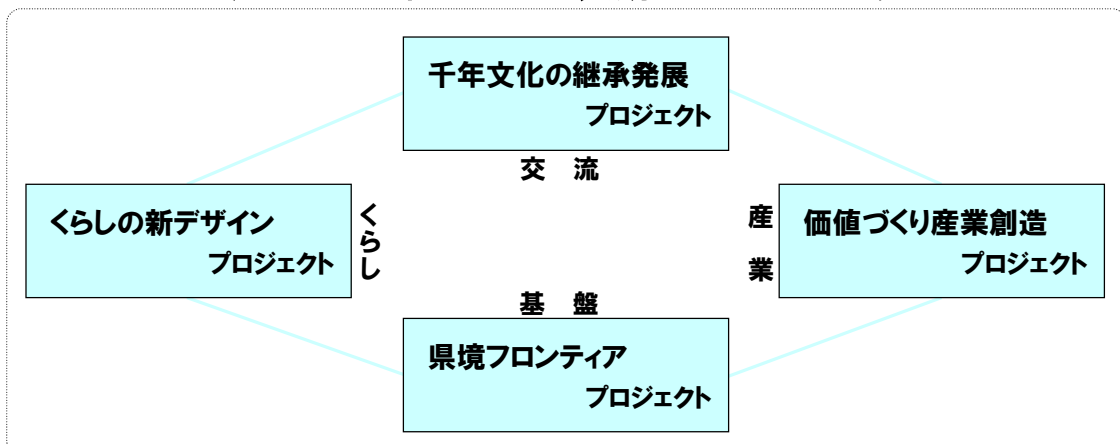
高速交通・物流網の早期完成により、日本海国土軸の中心に位置する本県が「国土の新拠点」に。千年を超える歴史と文化に一段と磨きをかけ、国内外から多くの人々が往来。日本一の人材力・技術力を活かした新たな産業が集積し、「幸福度日本一」の質の高い暮らしを実現する、新時代の活力と楽しさあふれるふくいを築きます。

※活力人口100万人・・・定住人口の確保に加え、交流人口・関係人口を拡大し、内と外が活発に交わることにより福井の活力を一段と向上

〔ふくいの将来イメージ〕



〔2040年に向けた長期プロジェクト〕



〔基盤〕

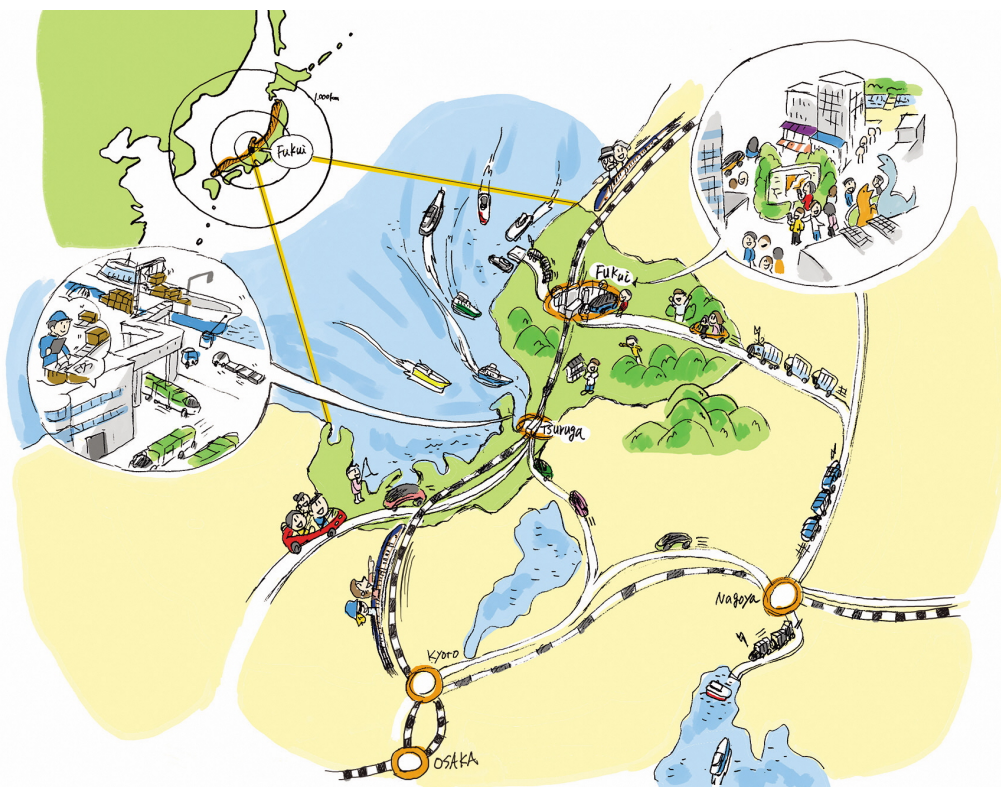
〔2040年のふくい①〕

日本地図を書きかえる 国土強化の新ネットワーク

「世界最先端のスマート港湾」敦賀港をはじめ、北陸新幹線や中部縦貫自動車道の完成により、日本海側の重要拠点として、アジアや三大都市圏との人流・物流が飛躍的に拡大

〔将来イメージ〕

- 敦賀港が世界最高水準のスマート港湾に進化し、関西・中京からアジアへの物流を最速化。環日本海諸国への外貿航路や国内各地への内貿航路が拡大し、日本の一大物流拠点となっている。
- 北陸新幹線福井・敦賀開業により坂井エリアが関東・東北・信越からの交流拠点となり、多くの観光客があわら温泉に泊まりながら、東尋坊や丸岡城、一乗谷朝倉氏遺跡など県内各地の観光スポットに足を延ばして賑わっている。
- 中部縦貫自動車道の全線開通により、中京と福井を結ぶ物流軸が完成し、奥越の産業団地が中京への供給拠点となっている。また、冠山峠道路とあわせ、奥越・丹南が名古屋から高山・白川郷等を結ぶ「昇龍道」広域観光の拠点となり、本物の自然体験や伝統工芸体験を多くの人々が楽しんでいる。
- 北陸新幹線全線開業により嶺南が関西至近の生活圏となり、関西からの移住者が増え、豊かな自然環境の中で、スポーツや食を楽しむ健康的な生活を送っている。



〔交流〕

〔2040年のふくい②〕

古き良きを新しいよろこびに ともに楽しむ千年文化

1500年の歴史を誇る伝統工芸をはじめ悠久の歴史に育まれたくらしや文化、自然風土など、福井の「千年文化」が継承され、オンリーワンの魅力に、国内外から多くの人々が惹きつけられ往来する一大交流地

〔将来イメージ〕

- 1500年の歴史を持つ伝統工芸や職人の技、地元の人々が大切に守ってきた祭りなどの価値が大きく高まり、日本を代表する文化として国際的にも評価され、多くの観光客で賑わっている。
- 世界ナンバーワンの恐竜や年縞の研究拠点に、国内外から研究者が集まり、さらに研究成果が充実。その成果を学ぶ子どもたちが大勢訪れ、福井ファンが全国に拡大している。
- 三方五湖や東尋坊など国内屈指の景観を楽しみながら、福井のプレミアム食材を用いた料理を味わえる高品質な宿泊施設に世界中からインバウンド客が訪れ、長期滞在している。
- 「福井がおもしろい」を合言葉に集まった若者が企画するアートや音楽イベントに多くの県民や観光客も参加し、一体となって盛り上がり交流を深めている。



〔くらし〕

〔2040年のふくい③〕

誰もがいつまでも居心地よく 全世代の快適人生

福井に残る家族・地域のつながりや、支え合いの精神を大切にしながら、子どもからお年寄りまですべての世代が安心して暮らし、生涯活躍できる全国モデルのしあわせ地域

〔将来イメージ〕

- 日本一子育てしやすい県として評価され、全国から子育て世代が移住。豊かな自然環境や充実した教育環境のもと、家族が助け合い仲良く暮らしている。
- 学力・体力トップクラスから、個性を引き出し学びを楽しむ教育へと進化し、子どもたちが夢と希望を持ち伸び伸びと育っている。
- 仕事や地域活動などあらゆる分野でシニアが活躍。健康長寿日本一のシニアが、年齢に関係なく社会の支え手として人生100年時代を元気に過ごしている。
- 自動運転車で安全便利に移動ができ、宅配・見守りサービスも充実。ICT活用の医療・福祉も完備され、介護が必要となっても高齢者が住み慣れた地域で温かく見守られ安心して暮らしている。
- 外国人や障がい者などが、分け隔てなく地域や職場で活躍。様々な考えを認め合う寛容な地域として全国から認められ、多様なつながりが生まれている。
- 自助・共助の精神が根付き、様々な人が地域防災の担い手として活動。治安が良く、住民同士が支え合いながら安全安心な暮らしを実現している。



〔くらし〕

〔2040年のふくい④〕

上質なくらしの先駆け **WAKASA リフレッシュエリア**

豊かな歴史と自然環境、洗練された美しい町並みに惹かれ、国内外から多くの人に移り住み、未来技術を活用した新しい働き方と質の高い生活を両立する「くらしの先進地」を全県に

〔将来イメージ〕

- 生活圏となった関西からの移住者が増え、関西に通勤・通学しながら嶺南に暮らし、サイクリングやマリンスポーツ、寺社仏閣巡りなど健康的で文化的な生活を満喫している。
- 美しい自然や悠久の歴史を体感しながら、古民家オフィスでテレワークするなど、地方暮らしのモデルとして憧れる新しい働き方が実現している。
- 嶺北に住む人も嶺南の古民家シェアハウス等に滞在し、豊かな自然や食を日常的に楽しむなど、県民同士の新たな結び付きが生まれている。
- CO2フリーエネルギーの先進県として、エネルギー循環型ハウスや自動運転車、遠隔医療など最新技術が集積するスマートタウンが県内各地につくられ、多くの若者や移住者が快適に暮らしている。



〔産業〕

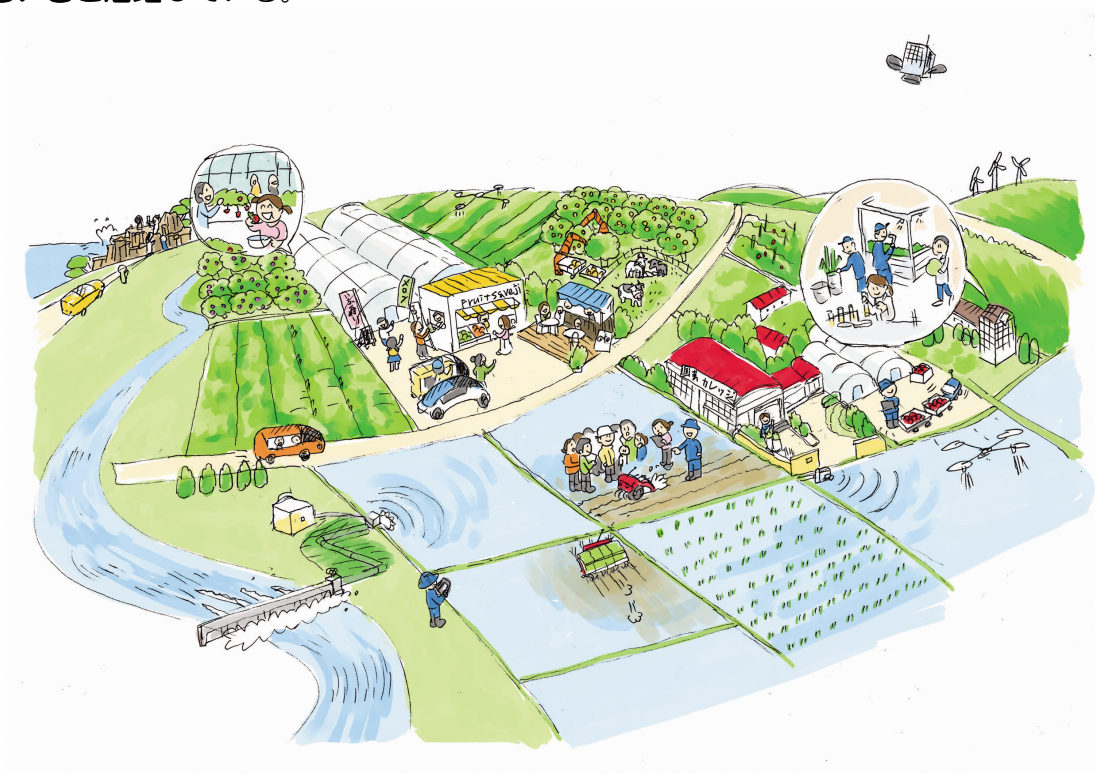
〔2040年のふくい⑤〕

自然といっしょに未来を育てる 夢がかなう農林水産業

福井の生活や文化、農山漁村の風景を形づくってきた農林水産業が、最新技術の活用やプレミアムブランドの創出により「稼ぐ力」を一段と高め、若者が憧れる新たな成長産業に飛躍

〔将来イメージ〕

- プレミアムブランド化された農産物や畜産物、地魚などが、首都圏や海外へ高値で取引され、**農林水産業の産出額が大幅に増加**している。
- 里山里海湖の豊かな環境に農家レストラン、漁家民宿、体験施設などが集まる「食と農の里」が各地に生まれ、**地域内外の人が交流するにぎわいのある農山漁村**となっている。
- 県立大学を中心に新たな農林水産業ビジネスが生まれ、さらに園芸・林業・水産カレッジで実践力を身に着けた若者がその担い手となって活躍。**儲かる産業に進化し、就労者が増えている。**
- 農業機械の自動運転や大規模園芸化、IoTを使った魚の増養殖など高効率化が進展。**新3K（かっこいい・稼げる・感動）産業に憧れる若者が集まり、女性や高齢者もいきいきと活躍**している。



〔産業〕

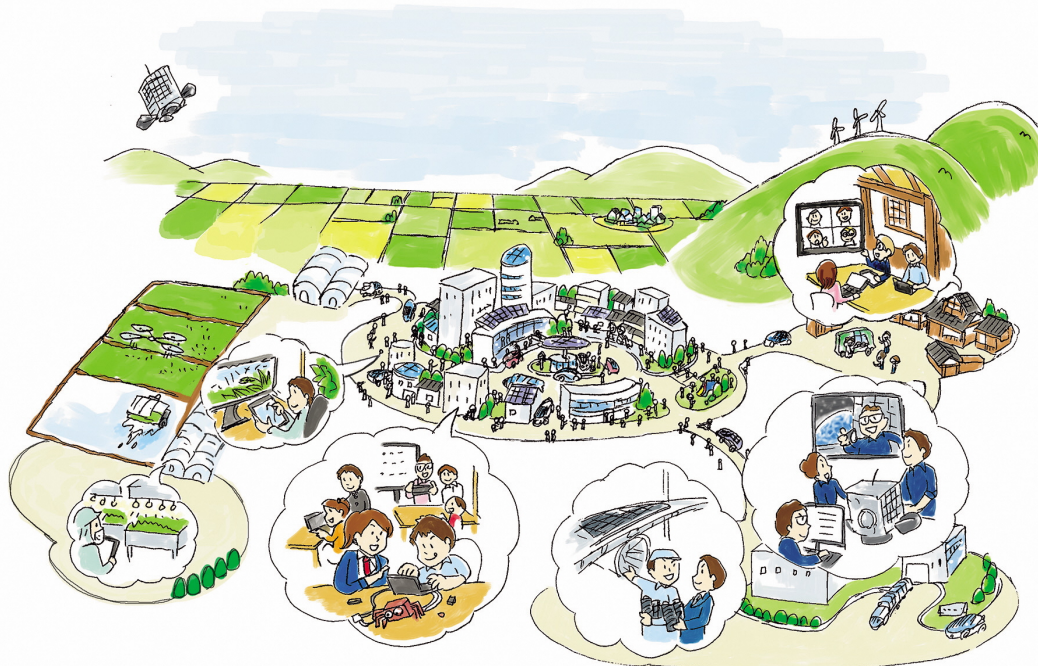
〔2040年のふくい⑥〕

ものづくり×デザイン 感動につなぐ価値づくり産業

福井の産業集積とそれを支える高い人材力に、技術革新とデザインが結び付き、新たな価値を創り出す先端企業が次々に生まれ成長する「地域循環型」の新産業集積地

〔将来イメージ〕

- 成功した経営者が起業家を育成し、その起業家がさらに次の起業家を育成する人材の循環が拡大し、新たな成長企業が続々と生まれている。
- 航空・宇宙産業の拠点として関連企業が集積し、さらにAI、ロボット、次世代エネルギーなどの最先端の技術を持つ企業が立地。地元はもとより全国の優秀な人材の受け皿となり、世界を牽引する新産業成長エリアになっている。
- ものづくりの確かな技術を基に、デザイナーやクリエイターが協働して新たな価値を付加。ブランド化された高品質な製品・サービスが相乗的に生み出され、心を動かす「FUKU I デザイン」の評価が確立している。
- IT企業の現役技術者やOBが教えるこども向けのプログラミング教室が各地で日常的に開催され、次世代の技術者が次々に輩出されている。



1 県境フロンティアプロジェクト

東西南北に開く高速交通・物流ネットワークの整備を加速し、
新時代の交流・暮らし・産業の基盤をつくる

○アジアへ最速「敦賀港」

- ・敦賀港を先端技術の導入による世界最高水準の高効率・高利便性を誇る「世界最先端スマート港湾」へ進化
- ・環日本海諸国との外貿や国内各地への内貿航路の充実・拡大
- ・南海トラフ等の大災害時には日本の拠点港湾として機能発揮

○新幹線で東京・大阪に直結

- ・福井・敦賀開業および新大阪までの「早期全線開業」の実現
- ・新幹線5駅を中心としたまちづくりとMa a Sなど2次交通の整備

○中京・関西につながる大動脈

- ・中部縦貫自動車道の「早期県内開通」
- ・舞鶴若狭自動車道の「早期4車線化」
- ・高規格道路へのアクセス道路や産業団地、道の駅等の整備

○誰もが等しく超高速通信

- ・福井県情報スーパーハイウェイ(FISH)やケーブルテレビ等の光ファイバー網の整備などにより、誰もが超高速通信ネットワークを利用できる「超スマート社会」を実現

<県境フロンティア>

県境エリアを、新たな交流やビジネスが生まれるフロンティア（新天地）に転換。
相乗的に中心エリアも発展し、県勢が飛躍的に拡大

<u>「北の玄関口」</u>	<u>「東の玄関口」</u>	<u>「南の玄関口」</u>	<u>「西の玄関口」</u>
新幹線福井・敦賀開業により坂井エリアが関東・東北・信越からの交流ハブに	中部縦貫道・冠山峠道路開通により奥越・丹南エリアが中京から日本海への人流・物流拠点へ	敦賀港の最先端スマート港化で関西・中京からの物流を最速で世界へ	新幹線全線開業により嶺南が関西至近のリフレッシュエリアへ

2 千年文化の継承発展プロジェクト

千年を超える歴史・文化やオンリーワンの魅力に磨きをかけ、「交流」と「楽しさ」を大きく広げる

○オンリーワンを伸ばす

- ・「世界一の恐竜研究」を追求・推進し、その成果をもとに、県内に多彩な恐竜体感の場を創出
- ・福井城址や北の庄城址などを活かした「歴史のシンボル」を県都に設置
- ・東尋坊や三方五湖など唯一無二の自然環境を核にインバウンドに人気の新たな「リゾートエリア」を形成
- ・年縞博物館を世界的な「年縞研究拠点」へ進化
- ・敦賀を拠点に、欧亜国際列車や「命のビザ」など世界を体感する「人道の港」整備

○「千年文化」の磨き上げ

- ・継体天皇ゆかりの越前漆器や川上御前の伝説が残る越前和紙など1500年前から現代まで続く伝統工芸をはじめ、お水送りなどの伝統行事や、氣比神宮、羽賀寺等の寺社仏閣など、悠久の歴史を誇る「千年文化」を活かした交流促進
- ・歴史文化施設の充実や、福井ゆかりの先人を主人公とする大河ドラマ誘致により、古代から中世・戦国・幕末近世まで、あらゆる時代を学び楽しむ「歴史体感エリア」のスケールアップ
- ・宿場町など歴史的まちなみや伝統産地に、「福井がおもしろい」を合言葉に若者・よそ者が集まる「チャレンジNo1ふくい」



県立恐竜博物館



越前和紙

3 くらしの新デザインプロジェクト

地域の絆と支え合いの精神を大切に、新たなつながりと最新技術を活かし、「日本一質の高いくらし」を実現する

○スマートエリアの形成

- ・ 太陽光発電・蓄電池等を搭載したスマートハウスや自動運転車、遠隔医療など、最新技術が集積する「未来型スマートエリア」を各地に形成
- ・ 2050年の二酸化炭素排出実質ゼロ「ゼロカーボン」を目指し、風力や水素などCO2フリーエネルギー導入を推進
- ・ 豊かな歴史文化と自然環境の中、文化的・健康的に暮らす「WAKASAリフレッシュエリア」の形成

○くらし安心「住みやすさ改革」

- ・ 「日本一の出会い・子育て」応援から「次世代包括ケアシステム」まで。つながりを活かし生涯安心して暮らせる全国モデルのしあわせ地域づくり
- ・ 有償ボランティアや、ICT等の活用により、高齢者の移動手段等を確保する「つながる次世代コミュニティ」創出
- ・ 日本一安全・安心な「防災・治安先進県」ふくいの推進
- ・ 「SDGs」の理念に基づき、持続可能な安心社会を形成



水素ステーション



古民家を改装した宿泊施設

4 価値づくり産業創造プロジェクト

地域産業の厚みと優れた人材力を基に、技術革新とデザインを結び付け、新たな価値を生み出す産業をつくる

○農林水産業を成長産業へ

- ・食の「プレミアムブランド化」により、国内外へ販路を拡大
- ・農林水産業のスマート化や観光農園、増養殖や県産材利用の拡大等により、新時代の「稼げる農林水産業」を実現
- ・県立大学新学科や園芸カレッジ等の人材育成システムと結び付け、「食と農のプラットフォーム」（総合基盤）を形成

○ものづくりから価値づくりへ

- ・成功した経営者が次世代に投資し、将来を担う起業家を育成。新たな価値を創造する「福井型エコシステム」の確立
- ・後継者の全国公募や後継ぎベンチャー支援など、福井らしさを活かした「事業創継」の推進
- ・「デザインの力」を最大活用し、地域産業をブランド化

○先進技術ふくいの拠点形成

- ・最新技術を有する企業の誘致、地域産業への技術革新導入により、「先端技術企業の一集散地」へ
- ・超小型人工衛星の製造や航空機素材の開発など、「航空・宇宙産業の拠点化」を推進
- ・次世代電池や水素など「未来エネルギー技術」活用推進

○未来のA I 技術者育成

- ・「A I 人材育成システム」により、未来技術を開発・活用できる次世代人材を数多く育成・輩出
- ・最新技術を学ぶ「A I カレッジ」の開講等により、県内企業で活躍する高度専門人材を育成



ふくい園芸カレッジ研修



企業の試作品開発等に使える「デザインラボ」

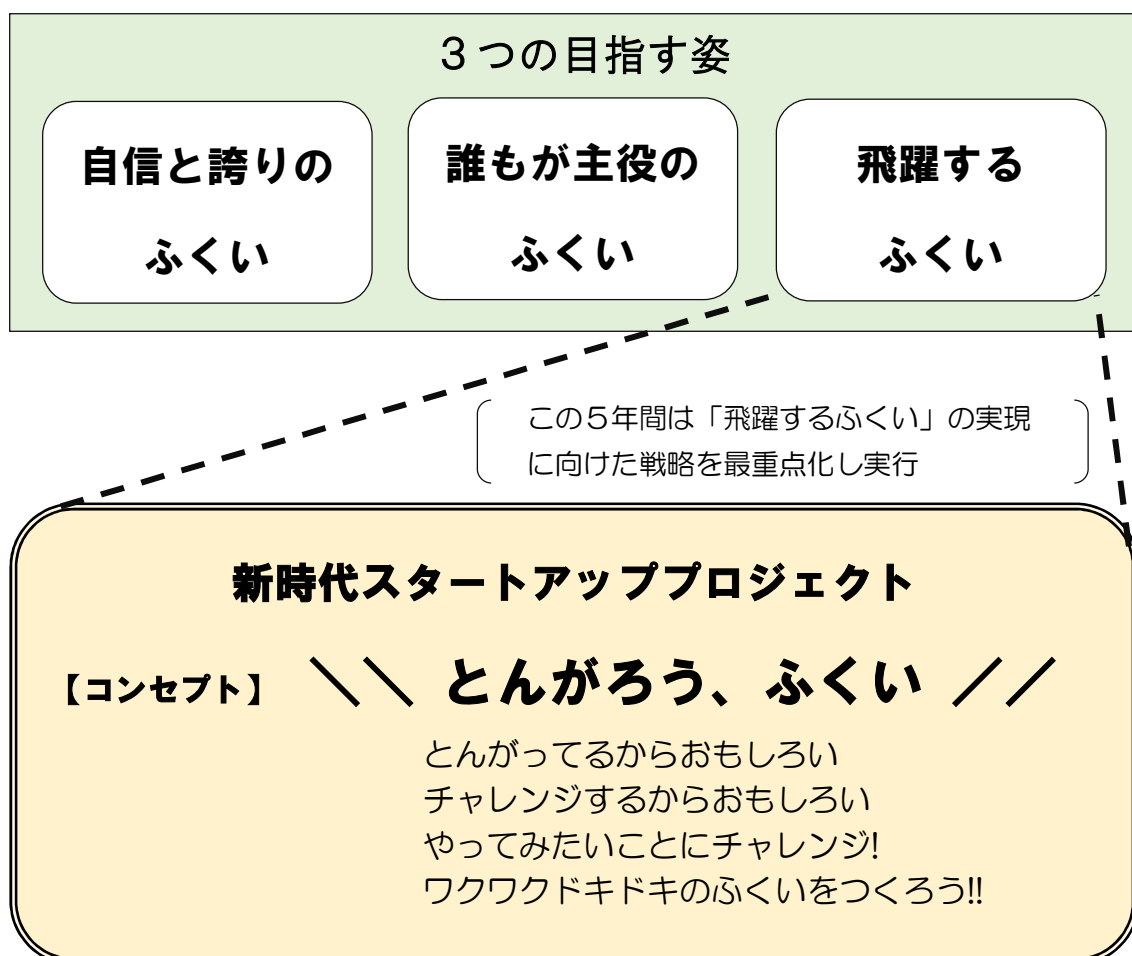
第2部 実行プラン

将来像を実現するため、「実行プラン」として、最初の5年間（2020～2024年度）で実行する主な政策・施策を示します。

新幹線県内開業等を迎えるこの5年間は、3つの目指す姿のうち、特に『飛躍するふくい』の実現に向けた戦略を「新時代スタートアッププロジェクト」として位置づけ、「ふくいエンタメ計画」、「次世代チャレンジ宣言」、「しあわせアクション運動」の3つのプロジェクトを最重点化し実行します。

このプロジェクトは、新幹線開業等を機に外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって実行する、“行政だけが担うプロジェクト”ではなく、“一人ひとりが参加し育てるプロジェクト”として推進します。

プロジェクトのコンセプトは「とんがろう、ふくい」です。従来の枠にとらわれない発想やチャレンジを応援し、ワクワクドキドキの「もっとおもしろい福井」を創造します。



※「とんがろう、ふくい」には、一人ひとりが個性を発揮し、変化や失敗を恐れず、お互いのチャレンジを応援し合う福井を目指そうという想いを込めました。

新時代スタートアッププロジェクト

「飛躍するふくい」の実現に向けた2020～2024年度の最重点化プロジェクト

【コンセプト】 \ \ とんがろう、ふくい / /

とんがってるからおもしろい
チャレンジするからおもしろい
やってみいたいことにチャレンジ!
ワクワクドキドキのふくいをつくろう!!

ふくいエンタメ計画

～ふくいの魅力を
とがらせよう～

「ふくいをもっとおもしろく」を
合言葉に。

観光、文化、スポーツ等の
の尖った魅力で多くの人を
呼び込み、県民も来訪者も、
誰もが楽しめる場所・機会
を創出



〔目標〕

ビジット2000

※観光客入込数2,000万人（2024年）

次世代チャレンジ宣言

～チャレンジで
未来をつくろう～

「果敢なチャレンジ」で
ふくいの未来を創造。

「次世代ファースト」
の観点から、創業支援、
働き方改革等により若者
に魅力ある仕事を創り、
尖った企業・人材を輩出



〔目標〕

スタート3000

※創業・事業承継等の件数3,000件
（2020～2024年度計）

しあわせアクション運動

～一人ひとりが
プレイヤーになろう～

「一人ひとりの小さなアク
ション」がふくいを変える。

それぞれが自分の立場で
できることを考え、持ち寄
る「県民総参加」の社会を
形成



〔目標〕

アクション1000

※県民の主体的な活動応援1,000件
（2020～2024年度計）

新幹線開業等を機に、外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって、
“行政だけが担うプロジェクト”ではなく “一人ひとりが参加し育てるプロジェクト” に

(1) ふくいエンタメ計画

～ふくいの魅力をとがらせよう～

「ふくいをもっとおもしろく」を合言葉に。

**観光、文化、スポーツ等の尖った魅力で多くの人を呼び込み、
県民も来訪者も、誰もが楽しめる場所・機会をみんなでつくります。**

目標 ビジット2000

※観光客入込数 2,000 万人 (2024 年)

○観光・まちづくりに重点投資

ハード・ソフト両面から観光地やまちの魅力 را磨き上げ、国内外から多くの人を呼び込みます。

- ・ 4つの新幹線駅を中心とした魅力あるまちづくりとMaaSなど交通ネットワークの充実
- ・ 恐竜博物館のフルモデルチェンジをはじめ、東尋坊、丹南伝統工芸産地、三方五湖、若狭湾など、観光地や宿泊を磨き上げてリゾートエリアを形成
- ・ 越前がに、いちほまれに続く「食のプレミアムブランド」確立と日本一のそばどころふくいの発信
- ・ 恐竜や戦国、食等を活用した観光列車の運行
- ・ 地域に短期滞在し、生活するように福井を楽しむ「微住」促進
- ・ 福井を舞台とした大河ドラマや朝ドラ、映画等の誘致の促進
- ・ 観光客の宿泊につなげる「イルミネーションエリア」の創出



観光地の磨き上げ
(三方五湖)

○国体レガシーを活かし「アスリートの聖地」へ

平成30年福井国体・障スポの成果・レガシーを活かし、スポーツが持つ力でたくさんの人を惹きつけます。

- ・ 地域スポーツコミッションによる大規模スポーツ大会の誘致
- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたフルマラソンの開催検討
- ・ 地元の機運盛り上げによるトップスポーツチームの育成
- ・ サイクルツーリズムなど自然を活かしたイベント、体験プログラムの開発



大規模スポーツ大会誘致
(アスリートナイトゲームズ)

○まちとくらしに音楽・アート

1500年の歴史を持つ越前和紙や漆器など伝統文化から、音楽やアートなど現代文化まで、福井に根差す「文化」を活かし、まちなかや集落ににぎわいを創出します。

- ・ 音楽・芸術など多彩な「フェス」の通年、県内各地での開催
- ・ 出張美術館など県民がいつでも文化芸術を楽しめる場づくり
- ・ 伝統工芸・クラフト体験に触れながら産地に滞在するクラフトツーリズムの拡大



まちなかでの「フェス」開催
(ONE PARK FESTIVAL2019)

(2) 次世代チャレンジ宣言

～チャレンジで未来をつくろう～

「果敢なチャレンジ」でふくいの未来を創造。

「次世代ファースト」の観点から、創業支援、働き方改革等により若者に魅力ある仕事を創り、尖った企業・人材を増やします。

目標 スタート3000

※創業・事業承継等の件数 3,000 件 (2020～2024 年度計)

○新分野チャレンジ「創業するならふくい」

先端技術や新分野への挑戦、国内外でのシェアトップ、新しい働き方など、若者に魅力ある“尖った”企業・産業を育成・応援します。

- ・先輩経営者による助言や投資などによるベンチャー企業の応援強化、将来的な株式上場などモデルとなる福井を代表する企業の創出
- ・後継人材の全国公募や後継者の新分野展開（後継ぎベンチャー）応援等による「事業創継」促進
- ・お金・人・技術等の経営資源が県内で循環する「福井型エコシステム」の構築
- ・スマート農林水産業や食のプレミアムブランド化などによる稼げる農林水産業への進化
- ・社員ファースト企業の拡大、テレワークの導入など、「しあわせ働き方改革」の実行



県内企業の上場例

○次世代を担う人材の輩出

起業家、AI・IT技術者、デザイナー、一次産業経営者、様々な分野の研究者など、次代を担う“尖った”人材を育成・応援します。

- ・農や水産増養殖を学ぶ学科、古生物関係学部など、県内大学における学部・学科の新設・拡充
- ・F A A ふくいアカデミックアライアンスによる大学連携強化、都市圏大学と連携した国内留学や企業・地域と協働したPBLの導入等による「ふくい創生人材」の育成



F A A の設立

○日本一の出会い・子育て応援

将来を担う子どもたちが生まれ、育ちやすい「日本一の出会い・子育て応援社会」をつくりまします。

- ・新たな婚活サポート拠点開設やマッチングシステム導入等による若者の出会い応援
- ・男性の育休や不妊治療休暇の取得促進など、仕事と妊娠・出産・子育ての両立応援
- ・保育料無償化の第2子以降への拡充や、3人目以降への新たな支援など、子育て応援をさらに強化

(3) しあわせアクション運動

～一人ひとりがプレイヤーになろう～

「一人ひとりの小さなアクション」がふくいを変える。
それぞれが自分の立場でできることを考え、持ち寄る「県民総参加」
の社会をつくります。

目標 アクション1000

※県民の主体的な活動応援 1,000 件 (2020～2024 年度計)

○県民の“夢実現”を徹底応援

自らの夢実現や生きがい充実に努力する県民の“アクション”を応援します。

- ・若者ミライ会議や若者ステーション開設等による**若者のチャレンジ応援**
- ・自らの夢を発信し、共感を得て実現を目指す「**夢実現クラウドファンディング**」の推進
- ・健康長寿なシニアによるボランティア活動、短時間就労、創業、文化・スポーツ活動など、それぞれの100年人生充実を応援
- ・「**有償ボランティア**」による県民の地域・社会貢献促進



若者のチャレンジ応援
(プランコンテスト)

○課題解決へ県民アクション

まちづくりや地域課題解決に向けた県民の主体的な活動を広げます。

- ・新幹線開業効果を高める県民主体のプロジェクトの実現応援
- ・住民発の地域課題をITで解決する「**シビックテック**」推進
- ・市民自らまちの将来を考え、行動につなげる「**将来構想ワークショップ**」の開催
- ・「**ソーシャルベンチャー**」(社会起業家)育成による自走可能なまちづくり活動の拡大



市民発のまちづくり活動
(「できるフェス」)

○ローカルチャレンジ「移住するならふくい」

国内外との交流を拡大し、外部の人材による福井応援を促進します。

- ・「河和田アートキャンプ」のような**学生の長期滞在**による地域課題解決・活性化事例の他地域展開
- ・大都市圏からの「**ふるさと兼業**」人材の誘致
- ・子育て世帯を呼び込む移住支援を強化
- ・県内サテライトオフィス等での「**テレワーク**」や「**ワーケーション**」^{*}等の推進



学生の長期滞在
(河和田アートキャンプ)

^{*}ワーケーション：仕事(work)と休暇(vacation)を組み合わせた造語で、休暇中に旅先で仕事をする新しい働き方

〔分野別政策〕

2040年頃の将来像を実現するため、「学びを伸ばす（人材力）」、「成長を創る（産業力）」、「楽しみを広げる（創造力）」、「安心を高める（地域力）」、「ともに進める（総合力）」の5分野に分け、5年間（2020～2024年度）に下記の政策・施策を実行します。

政策・施策を進めるにあたっては、福井の「文化」と「デザイン」の力を活かし、政策の質を向上させます。

〔5分野の方向性〕

分野	方向性
<p>学びを伸ばす （人材力）</p> <p>ふくいは人が宝。 地域を支え、未来を創造する 人材の育成</p>	<p>福井の人材力を最大の武器に。心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛する、福井の次代を担う人材を育成します。また、誰もが様々なことにチャレンジでき、自分らしさを発揮できる、多様性が魅力の社会を目指します。</p>
<p>成長を創る （産業力）</p> <p>力強い産業基盤の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築</p>	<p>新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。新産業育成や新事業創出などに積極的に挑戦し、若者が魅力を感じる、活気と好循環の地域経済を目指します。</p>
<p>楽しみを広げる （創造力）</p> <p>多彩な魅力で交流拡大。 交通新時代の 活力の創出</p>	<p>人が人を呼び込み、交流拡大を地域の力に。深みのある歴史・文化や自然を活かし、多様な魅力・楽しみを創り出し、すべての世代が誇りを持ち、ワクワク・ドキドキする、個性と活力にあふれるまちを目指します。</p>
<p>安心を高める （地域力）</p> <p>人生100年時代をリードする 「健康文化」の創造。 くらしを守る安全・安心</p>	<p>人生100年時代を健康・安心に。新たな高齢者観を構築し、子どもからシニアまで生涯健康であることを志向する「健康文化」を育みます。また、医療・福祉・防災等を充実させ、安心して暮らせる地域を目指します。</p>
<p>ともに進める （総合力）</p> <p>協働による県民主役の県政。 外に開き連携強化</p>	<p>徹底現場主義による県民主役の県政実現。県民・企業・団体・市町など「チームふくい」が一丸となり行動するとともに、県境を越える広域連携を強化し、将来像の実現を目指します。</p>

政 策

学 び を 伸 ば す (人 材 力)	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を「引き出す教育」、好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」を推進 ・ 自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成 	
	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学官が連携し、福井の産業や自然を活かした教育・研究を推進し、若者に魅力的な学びの場を創出 ・ 人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍し続ける創造性豊かな人材を育成 	
	3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性、若者、高齢者など、性別、年齢に関わらず誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を実現 ・ 障がい者、外国人など多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」を推進 	
	4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みを拡充 ・ 「日本一の出会い・子育て応援社会」を構築 	
成 長 を 創 る (産 業 力)	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井の生活・文化を形づくってきた農林水産業を大切に守り、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用 ・ 新技術の活用などにより、力強い成長産業にレベルアップ 	
	6 地域経済のイノベーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内の経営資源が循環する「福井型エコシステム」の構築、デザインの活用等による地域経済のイノベーションを創出 ・ 新技術の活用による生産性向上や人材確保、人を幸せにする働き方改革の推進など地域経済の持続的発展を応援 	
	7 Society5.0 時代の新産業創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高いものづくり技術を活かした成長産業への進出や新技術を活かした高付加価値産業への転換 ・ 若者や女性を惹きつける企業の誘致 	
	8 拡大する世界市場をふくいの成長へ <ul style="list-style-type: none"> ・ 成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化 ・ 「食」や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県に取り込み経済成長につなげる 	

重点施策	施策
個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級や習熟度別指導、ICTの活用等の推進 ・ふるさと教育・キャリア教育の推進、スポーツ・文化芸術活動の充実 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○個性や主体性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材の育成 ○一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する教育の充実 ○郷土を学ぶ教育の推進など、ふるさとを愛する子どもの育成 ○教員の働き方改革や放課後児童クラブ等の充実など、子どもの成長を社会全体で支える教育環境の整備 など
「ふくい創生人材」育成プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な大学づくりや高校等との連携強化による県内大学進学促進 ・F A A（ふくいアカデミックアライアンス）による連携強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○農や水産増養殖、古生物学の学術拠点など、新たな学部・学科の創設による若者に魅力的な大学づくり ○地域でのフィールドワークや共同研究など産学官連携による地域人材の輩出 ○多様な人生設計を支えるリカレント教育の充実 など
みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・「共働き方改革」による新たなライフスタイルの実現、若者・シニアのチャレンジ応援 ・障がい者、外国人の就労や生活環境の整備 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭でも職場でもワークシェアを進め、男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現 ○若者同士のネットワークを拡大、面白い挑戦を「ちよい足し」応援 ○全世代の県民や企業等が社会貢献活動に参加しやすい環境づくり ○障がい者の就労支援や外国人が住みやすい環境の整備 など
子どもさんふくいプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯への経済的支援を2人目からに拡大 ・保育人材の確保など保育の受け皿の強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自然な出会い」の環境づくりなど新たな出会いのサポート ○妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を強化するなど安心して出産・子育てできる環境の整備 ○男性の育児・家事参加促進やシニアや学生による子育て支援など子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みづくり など
稼げる農林水産業創出プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・スマート技術の活用による稼げる農林水産業の実現、カレッジ等での人材育成 ・農林水産業と観光等の他産業を結び付けるプラットフォームの形成 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○スマート農業の普及や大規模経営化による生産性の向上 ○「いちほまれ」や「ふくいそば」など福井の美味しい食のトップブランド化 ○観光農園の整備など新たな交流促進による農山漁村の魅力創出 ○県産材の需要と供給を拡大し、育てる林業から稼げる林業へ転換 ○養殖生産やスマート漁業の推進など水産業の成長を促進 など
お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・有望ベンチャーへの投資などスタートアップ企業の発掘・育成 ・「後継ぎベンチャー」の支援など事業創継の推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○起業家による創業支援など地域内でお金や人を循環 ○デザインの力によるものづくり産地の魅力向上 ○和菓子店や酒蔵、伝統工芸などくらしに根差した小さな企業の応援 ○AI、IoT等の新技術の活用による地域企業の生産性向上や外国人材の受入促進等による人材確保 ○幸せと生産性を両立する「しあわせ働き方改革」の実行 など
ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・生産・データ利活用の拡大、人材集積を通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成 ・未来型エネルギー技術や自然に優しい新素材の開発 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○航空・宇宙、ヘルスケア産業など成長産業への進出を応援 ○AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出、高付加価値化 ○企業誘致による若者や女性を惹きつけるしごとの創出 ○スマートエネルギーエリアの整備や研究・人材育成の拠点形成など、嶺南「Eコースト」の形成 など
世界市場チャレンジプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・県民・企業のニーズに即したミッション型海外事務所の設置 ・国・地域ごとのニーズに応じたプロモーションなどインバウンドの拡大 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○環日本海諸国やアジアへの進出や販路開拓の支援など海外ネットワークの充実・強化 ○福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化 ○オリンピックや大阪・関西万博等を活かした発信 ○敦賀港・福井港を活かした貿易拡大 ○環日本海、アジア、欧米諸国等との交流促進、国際人材育成 など

政 策

楽しみを広げる (創造力)	9 100年に一度のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通を整備 県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進 	
	10 北陸新幹線開業効果を最大化 <ul style="list-style-type: none"> 誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化 	
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 <ul style="list-style-type: none"> Uターン支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換 交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につなげる新たな仕組みを構築 	
	12 文化・スポーツがふくい活の活力 <ul style="list-style-type: none"> 長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱をまちづくりや交流人口の拡大に活用 デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみにあふれるまちづくりを推進 	
安心を高める (地域力)	13 人生100年時代の健康ライフスタイル <ul style="list-style-type: none"> 何歳になっても元気なうちは社会を“支える”役割を担うという新しい高齢者観を共有 人生100年を健康に過ごすための「ふくい型健幸サポートシステム」を構築し、福井発の「健康文化」を創造 	
	14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 <ul style="list-style-type: none"> 医療、介護、予防、生活支援などがトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開 誰もが住み慣れた地域で安心して医療や介護、福祉サービスを受けられる環境を整備 	
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持 <ul style="list-style-type: none"> 新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつまでも安心して暮らすことができる地域を構築 豊かな自然環境を保全するとともに、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギー導入等を推進 	
	16 防災・治安先進県ふくいの実現 <ul style="list-style-type: none"> 頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全 子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現 	
ともに進める (総合力)	17 「チームふくい」の行政運営 <ul style="list-style-type: none"> 徹底現場主義に基づき、県民主役の県政を実現 市町とのコミュニケーション強化や価値創造型の政策立案の推進 	
	18 広域パートナーシップの強化 <ul style="list-style-type: none"> 地方間の連携強化による高速交通網等の整備促進 新たなネットワークづくりによる地方発の政策提案 	

重点施策	施策
新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト ・新たな4つの新幹線駅周辺のまちづくりを市町と協働し推進 ・観光型 MaaS の構築 など	○北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 ○新幹線駅周辺のまちづくりを市町等と協働して推進 ○二次交通の充実や地域鉄道等への支援など持続可能な地域交通ネットワークシステムの構築 ○港・空港・道路などのふくいを支える交流基盤の整備・活用の推進 ○関西との近接性を活かした「WAKASA リフレッシュエリア」の形成 など
観光リゾートエリア形成プロジェクト ・恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統工芸産地、三方五湖、若狭湾など観光地のスケールアップ など	○観光資源の魅力向上や周遊・滞在を促進する仕掛けづくり ○ブランド力向上やデジタル情報の発信拡大などによるふくいブーム創出 ○国・地域の特徴に応じた外国人目線のインバウンド誘客 ○おもてなしの向上などリピートしたくなる環境づくり ○DMO など地域が一体となった観光産業化の基盤づくり など
関係人口拡大プロジェクト ・県外学生等の長期滞在・地域フィールドワークの促進 ・テレワーク、ワーケーションなど新たな働き方による都市人材の呼び込み など	○県内企業と県外大学生や都市圏の地方転職希望者との接点の拡大などによる UI ターンの促進 ○教育機関と産業界が一体となった学生の地元定着の促進 ○学生を滞在させるキャンプの拡大や市町と連携した「微住」の促進 など
文化・スポーツによる「エンタメ福井」実現プロジェクト ・全国規模のスポーツ大会の誘致や参加型のスポーツイベントの企画・開催 ・音楽フェスなどにぎわいを創出するまちなかイベントの拡大 など	○千年を超える本県の歴史・文化遺産などをネットワーク化し、歴史ミュージアムふくいを発信 ○サブカルチャー・ポップカルチャーの振興など、「若者・よそ者」が集まるまちづくりの推進 ○スポーツツーリズムの推進や県内を拠点に活躍するスポーツチームの応援 など
ふくい発「健康文化」創造プロジェクト ・血液一滴がん検診の導入、ハイシルバークの促進など「いきがい寿命」の延長 ・「ふくい型健康リテラシープログラム」の開発 など	○フレイル予防等の促進による疾病・要介護化の徹底防止など100歳までの「健活力」の向上 ○通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動ができる環境整備 ○地域の健康づくりの担い手育成など住民サポートの強化 など
次世代包括ケアシステム推進プロジェクト ・東大との新たな「ジェロントロジー4.0」共同研究や「回復型」フレイル予防の導入 ・医療・介護に生活支援を融合 など	○先端技術を活用したスマート医療、ドクタープール制度、ドクターヘリの活用等による地域医療の充実・強化 ○訪問介護の提供体制の充実や医療・介護・福祉に従事する人材の確保・育成 ○8050 問題や育児と介護のダブルケアなど様々な課題に対応する包括的な福祉サービスの充実強化 など
持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト ・安心して暮らせる集落生活圏の形成、有償ボランティアの仕組みづくり ・ICT など新技術の活用による地域の課題解決 など	○集落機能維持に対する支援や ICT 活用による新たな共助の仕組みづくり ○歴史的まちなみや自然景観など美しい景観の保全・形成 ○豊かな里山里海湖の保全と交流人口拡大への活用 ○再生可能エネルギー等の導入拡大や地球温暖化対策の強化、スマートエリアの整備 など
安心の防災基盤強化プロジェクト ・大規模災害団員の確保支援や企業との連携等による防災力強化 ・治水・土砂災害対策など県土強靱化の推進 など	○県と市町の連携強化や地域の自助・共助による防災力と新技術の力の融合による災害への対応力の向上 ○インフラ老朽化対策や建設産業の担い手確保 ○子ども、女性、高齢者など県民を守る犯罪・事故対策を強化 ○県民の安全最優先の原子力政策の推進 など
市町協働による行政サービス向上プロジェクト ・行政システムの共同化など県・市町共通の課題をチームにより課題解決 ・市町職員の確保支援、人事交流 など	○徹底現場主義やクレドに基づく県民主役の県政、市町との協働強化 ○SDGs の推進や政策デザインの考え方に基づく政策立案と実行 ○A I 等の活用による仕事の進め方改革と人材確保・育成 ○歳入確保と歳出の合理化・重点化、健全財政運営 など
地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト ・関係自治体と一体となった高速交通網の整備促進と県境フロンティア観光誘客 など	○高速交通網の整備促進や広域観光など連携による交流拡大 ○災害などに備えた広域連携の強化 ○全国の自治体と連携した政策立案や国等への提言 など

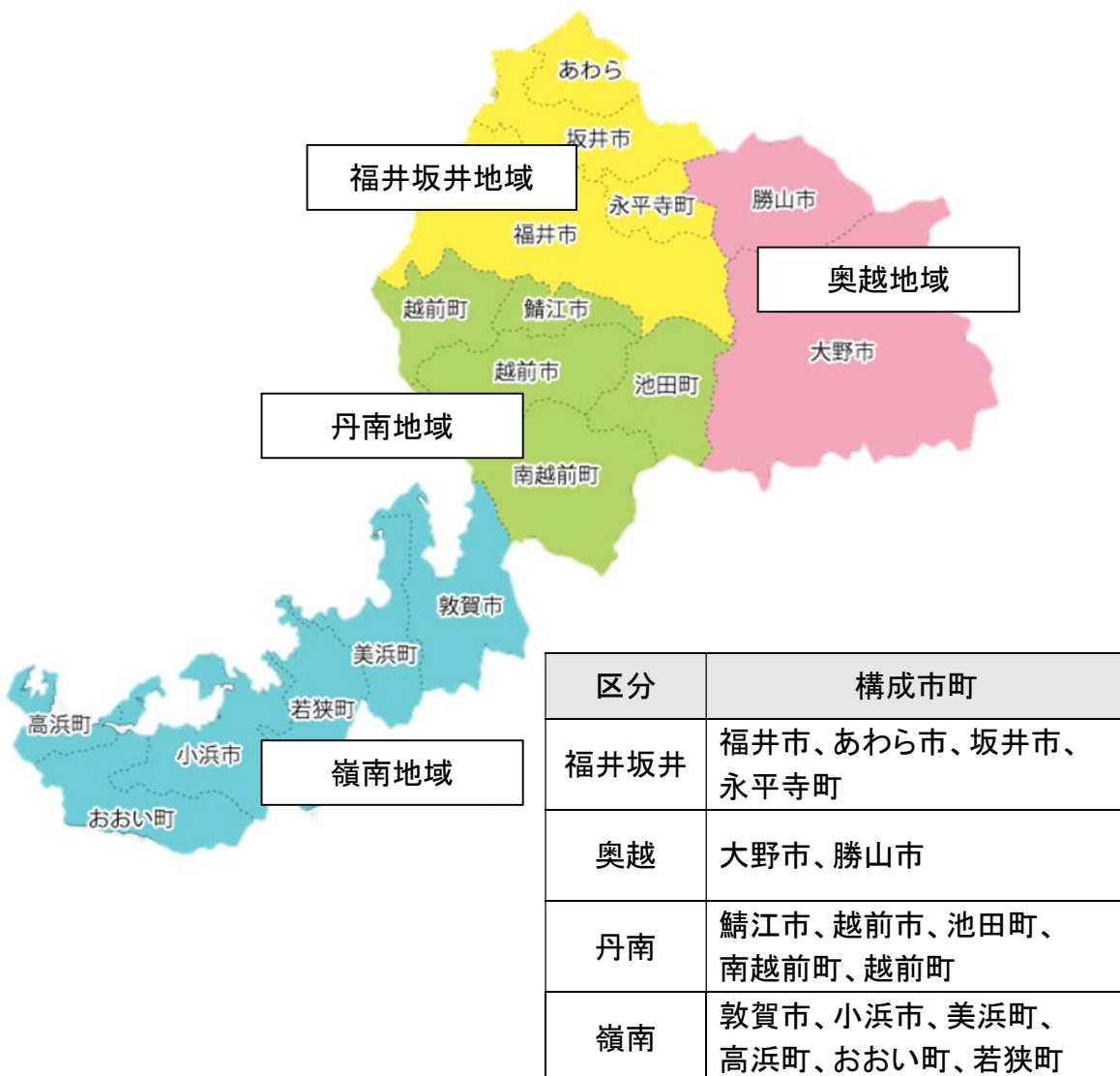
第3部 地域プラン

第3部では第1部で示した将来像の実現に向け、地域ごとの発展構想をまとめます。

福井県は日本海沿岸から内陸・山間部まで自然環境の変化に富んでおり、また、歴史・文化的背景や、産業、人口・都市機能など、様々な分野で地域ごとに特色が異なります。県全体だけでなく、地域の特色を踏まえた2040年の将来イメージを共有し、市町とともに実現を目指します。

〔地域区分の考え方〕

自然的・社会的条件から一体性を有し、これまでも広域的な視点から行政が進められてきた「福井坂井」、「奥越」、「丹南」、「嶺南」の4つの地域に区分し、将来像を示します。



〔2040年の高速交通インフラ〕

2040年ごろには、北陸新幹線、リニア中央新幹線ともに大阪まで全線開業していると考えられます。また、中部縦貫自動車道の大野油坂道路も完成し、東海北陸自動車道に接続しています。舞鶴若狭自動車道（若狭さとうみハイウェイ）の4車線化も進み、冠山峠道路も開通するなど、福井県が東西南北に開くゲートウェイが完成しています。

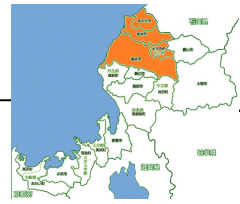
これにより、奥越地域は中京方面への東の玄関口になるとともに、福井から中京までつながる「東西交流軸」の拠点となります。丹南地域は岐阜県と通じて中京圏と直接つながり、そして嶺南地域は関西との近接性が一層高まることとなります。

さらに、福井の空の玄関口である小松空港に加え、敦賀港の鞠山南国際物流ターミナルの整備やスマート港湾化等も進み、陸・海・空の各方面で本県の立地条件が高まります。

本県は古来、奈良・京都の都に近い、「こしのみちくち（越前）」であり、日本海側の中央に位置する東アジアの玄関口でした。高速交通網が完成する今、改めてその優位性を最大限に発揮し、県勢を大きく飛躍させていくことが重要です。



福井坂井地域



〔福井坂井地域の将来イメージ（2040年）〕

- ・ 歴史を活かした県都のまちづくりが進捗。永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡や三国湊、丸岡城などの歴史遺産、東尋坊、あわら温泉など、福井を代表する観光資源が集積する**歴史と自然が調和したにぎわいエリア**
- ・ 繊維や化学、機械などの企業、産業支援機関、大学などがオープンイノベーションの推進により、**革新的な技術や製品を生む未来産業創造エリア**
- ・ 県立大学や園芸カレッジ等による人材育成と、スマート農業、園芸導入による複合経営、食のブランド化により**新たな価値を生み出す食と農のプラットフォーム*エリア**
※プラットフォーム：総合基盤
- ・ 自動運転やMaaS、オンデマンド交通*など、県民や観光客にとって**新たな移動手段が実現する先端交通エリア**
※オンデマンド交通：利用者の予約に応じて運行される交通システム

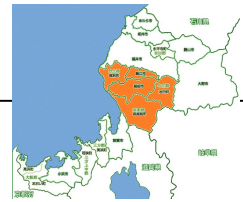
奥越地域



〔奥越地域の将来イメージ（2040年）〕

- ・ 日本一の星空にも選ばれた六呂師高原や刈込池の雄大な自然と野外活動、天然記念物に指定された恐竜化石や発掘現場など、**ほんものの大自然を体感するエリア**
- ・ 福井と中京を結ぶ「東西交流軸」の拠点として、産業団地や道の駅を中心に**新たに人や企業が集まり交流する新産業集積エリア**
- ・ 中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺、越前大野城やその城下町など、**奥越前の歴史遺産ブランドエリア**
- ・ 農地・森林を保全し、その豊かな農山村の資源を活かした農林水産業の振興と6次産業化による、**にぎわいと活力の里地里山ビジネスエリア**

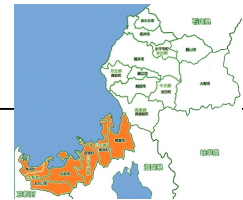
丹南地域



〔丹南地域の将来イメージ（2040年）〕

- ・越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆笥の5つの伝統工芸や眼鏡・繊維など長い歴史を有する地場産業と電子・化学等ハイテク産業が集積し、**伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア**
- ・高い技術を有する地場産業や先端技術産業、豊かな自然を活かした農林水産業などに魅力を感じて集まった移住者、女性、外国人など**様々な人たちが共生しチャレンジするエリア**
- ・越前海岸における越前水仙などの景観、生き物に配慮した環境保全型農業の水田地帯、北国街道の今庄宿や鉄道遺産など、**行き交う歴史や自然が魅力の街道新交流エリア**
- ・伝統的民家や農家民宿などに滞在し、伝統工芸・クラフト体験や農業体験など地域の営みを楽しむ**新たな「しごととくらし」の観光エリア**

嶺南地域



〔嶺南地域の将来イメージ（2040年）〕

- ・京都・大阪との近接性、自然や歴史・文化・食の魅力、安心の子育て環境を活かし、嶺南から関西に通勤し、創造的に働きながら文化的・健康的に過ごせる**くらしの先進地「WAKASAリフレッシュエリア」**
- ・スマートエリアの整備、デコミッションング（廃炉）ビジネスの育成、新たな試験研究炉を核とした研究・人材育成の拠点化や産業創出により、**人や企業が集まる嶺南Eコーストエリア**
- ・新幹線や敦賀港のクルーズ船からの外国人が三方五湖や鯖街道、人道の港、漁家民宿など**嶺南の自然と歴史を楽しむインバウンドリゾートエリア**
- ・人々の手で守り継承されてきた伝統芸能・祭り、寺社仏閣、食文化などを学び、交流する**伝統文化を学び体感するエリア**

